



あまの四季彩

	R1.10末	R1.11末	前月比
0~14歳	1,218	1,221	3
15~64歳	6,708	6,706	-2
65歳~	4,843	4,844	1
合計	12,769	12,771	2

網野地域 子育て支援センター ロックなリズムよ響け <12/5>

今年度開設した網野地域子育て支援センター（旧浅茂川保育所）で、ロックバンド「アミノロック」による「ゆかいなコンサート」が開催され、支援センターを利用する乳幼児と保護者は大迫力の生演奏を楽しみました。



「アミノロック」は、平成12年に網野幼稚園PTAのロック好きな父親4人により結成されました。メンバーは、地域を明るく盛り上げたいと、『楽しいロックの提供』をモットーに活動しています。

当日は、「シングルベル」など、独自にアレンジした8曲を披露しました。リーダーの西川康一さんは、「みんなのびのび育てよ！とロックな気持ちを込めて歌いました」と話し、幼い子どもたちも手をたたき、腰を振って楽しんでいました。演奏後には「また来てね！」と、



次回のアンコールの声も！

同支援センター（72-0710）では、毎週木曜日に網野町以外の利用者も受け入れています。乳幼児のみならず保護者同士の交流の場としても大変、喜ばれています。

待ち望んだアーチ型の福田橋が完成！ <12/2>



福田川の河川改修工事に伴い、平成28年5月から全面通行止めとなっていた「福田橋」の架け替え工事が完了し、12月2日から通行可能となりました。

新しい福田橋は、取り付け道路との滑らかな接続や通行を確保するため、橋の全長が約36mのアーチ型になっています。

このことにより福田橋の中央付近が最も高くなり、前方が確認しづらく、スピードが出やすくなるため、「速度注意」「幅員減少」の道路標識や、カーブにはオレンジ色の発光式ラバーポールを設置するなど、

注意喚起や安全確保の工夫がなされています。

この道路は、子どもたちの通学路にもなっていますので、自動車等で通行される際は「安全運転」を心掛けましょう。



網野学園 “鳴き砂”が導く心の交流事業

網野学園では、平成23年から「東日本大震災」で被災された方々の力になりたいと、当時の網野中学校生徒会の生徒の発案で自宅等の空き缶を持ち寄り、リサイクル業者の引き取り代金



空き缶を回収する児童生徒のみなさん

を義援金として復興に役立てていただく活動を行っています。

“鳴き砂のつながり”を大切にしたいと、鳴き砂で有名な「十八鳴浜（くくなりはま）」がある宮城県仙沼市の「大島中学校」に8年間継続して義援金を送っています。

毎年秋には、「一人が100缶より100人が一人1缶を！」を合言葉に、小・中学校合同のボランティア活動として取り組む中、今年度は、網野町民生児童委員協議会の皆さんが大島中学校を研修訪問するなど、「鳴き砂」が縁となり、小・中学校や地域全体のつながりも深まっています。

「平成」が終わり「令和」が幕を開けた2019年も、残りわずかとなりました。みなさんにとって、今年はどうな1年でしたか？

2020（令和2）年は、十二支の始まり「子（ね）年」です。子年を植物にたとえると種が芽吹き始める時期だそうです。網野の未来を皆さんと一緒に考え、話し、笑い、楽しみながら、賑わいあふれる“まちづくりの種子”が芽吹く年になりますように……



それではみなさんよいお年を！